

公共施設情報だより

令和 8 年 3 月発行
 高山市総務部行政経営課
 第 7 号

本号では、レクリエーション施設について解説していきます。令和 7 年 4 月 1 日時点では 10 施設あります。

●各施設ごとの施設のあり方や整備等の方針については下表のとおりです。

大分類：(2) スポーツ・レクリエーション施設 小分類：②レクリエーション施設

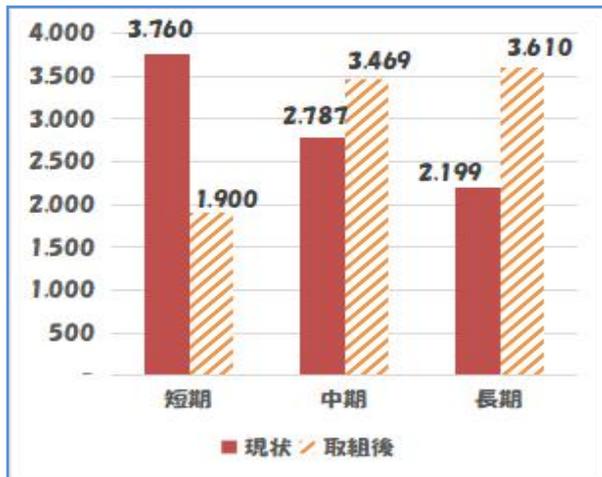
施設名	施設のあり方		施設の整備等	
	方針	時期	方針	時期
◆キャンプ場関連施設				
胡桃島キャンプ場	譲渡	中期（前半）	—	—
四十八滝公園	譲渡 (キャンプ場部分)			
	転用 (公園部分)			
乗鞍高原飛騨高山キャンプ場	譲渡			
岩舟河川公園	廃止	R6	活用 (売却・貸付)	—
パスカル清見（観光施設）	譲渡	中期（前半）	—	—
巣野俣屋外研修施設				
みぼろ湖オートキャンプサイト	廃止	R5	活用 (売却・貸付)	—
野麦オートビレッジ	譲渡	中期（前半）	—	—
◆スキー場				
乗鞍高原飛騨高山スキー場	継続	—	—	—
飛騨舟山スノーリゾートアルコピア	廃止	R4	活用 (売却・貸付)	—
◆広場				
赤保木交流広場	継続	—	更新等	R4
高山市位山交流広場		R4		—
◆その他施設				
高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森	継続	—	更新等	長期

短期：R2～R6（2020～2024）、中期（前半）：R7～R11（2025～2029）、中期（後半）：R12～R16（2030～2034）、
 長期：R17～R31（2035～2049）

●レクリエーション施設の管理・運営に関する基本的な方針は下記のとおりです。

<p>基本的な方針</p> <p><民間活力導入の実施方針></p> <ul style="list-style-type: none"> PPP/PFI など民間活力の導入を検討する 施設の利用状況やニーズを把握し、民間への譲渡などを検討する <p><統廃合、複合化・多機能化の実施方針></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域内の民間類似施設と競合する施設においては、統廃合を検討する <p><広域的な活用に関する実施方針></p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体の枠を超えて相互利用や一体的な活用を検討し、広域的な活用をすすめる

レクリエーション施設の将来負担経費（単位：百万円）



現状のまま更新等を続けた場合、30年間で約87.5億円かかる見込みですが、上記方針に基づく取り組みにより、約89.8億円（約+2.3億円、約+2.7%）となる予定です。

（単位：百万円）

	短期	中期	長期	計
現状	3,760	2,787	2,199	8,746
取組後	1,900	3,469	3,610	8,979
増減	△1,860	682	1,411	233

●高山市位山交流広場の使用料の見直しについて

高山市民スキー場の運営に係る経費が近年著しく上昇していることから、リフト使用料等の見直し（市民の使用料は現行のまま）を行うこととしました。併せて、グレンデ・駐車場・芝生広場については、現在使用料の設定がなかったため、更なる利用促進に向け、新たに使用料を設定することとしました。本件については令和8年高山市議会3月定例会に議案を上程しています。

